

| | | 確かな学力をはぐくむ | | | 心身の健康を育む | | | 郷土愛をはぐくむ | | |
|---------------------------|---|--|--|---|---|--|--|---|--|----------------|
| | | 家庭学習の習慣化を図る | 保・幼・小・中の学びをつなぐ | 国際理解の充実 | 読書の習慣化を図る | 「早寝・早起き・朝ごはん」運動 「あいさつ運動」 | 体力の向上 食育の充実 | 「ふるさと国見」を学ぶ | 子どもと地域の人々とのつながりを深める | 子ども同士のつながりを深める |
| めざす子どもの姿等 達成規準 達成基準 | 発達過程に即した遊びや経験をやる。 | 遊びと生活を通して「自分でしよう」という気持ち芽生え、意欲をもつ。 | いろいろな国の言葉の響きがあることを感じる。 | 読み聞かせや絵本に触れ、関心を持つ。 | 基本的な生活習慣が快い感覚として身に付いていく。生活に必要な「あいさつ」を知る。 | 発達過程に沿って体を動かす心地よさや楽しさを感じる。楽しんで食事をし、意欲的に食べる。 | 日頃の遊びや散歩などで国見の自然を感じる。国見の民話を知る。 | 地域の方と一緒に過ごし、親しみをもつ。 | 「お兄さん・お姉さん」という存在を知り親しむ気持ちをもつ。 | |
| | ・家族との触れ合いやかかわりを十分に受け、遊びや発達に即した経験ができています。 | ・「自分でしよう」という意欲をもち身の回りのことや遊び、活動を行おうとしている。 | ・英語の手遊びや子守唄を楽しんで聞いている。 | ・読み聞かせを「おもしろいと感じている。自分から絵本に触れ見ようとしている。 | ・簡単な身の回りのことを自分でやっている。 ・適切な生活リズムが作られ過ごしている。 ・保育者と一緒に「あいさつ」できている。 | ・生活や遊びの中で発達に合った動きを十分に行っている。 ・さまざまな食品や調理形態に慣れ、食べようとしている。 | ・散歩や戸外遊びで自然とかかわっている。 ・紙芝居やペープサートを見て楽しんでいる。 | ・野菜栽培や行事などで地域の人とかかわることができている。 | ・「お兄さん・お姉さん」という存在を感じながら、小、中学生と一緒に過ごしている。 | |
| 具体的な実践 | ○子どもの育ちや様子を知らせ家庭との連携を図る。 ・連絡帳（毎日） ・保育所だより ・クラスだより ○家族との触れ合い、かかわり 【家庭】 | ○保育者との信頼関係を基に、子どもが「意欲」をもつことができる援助（日々の保育） ○情緒的、社会的及び道徳的な基盤の発達を促す保育（日々の保育） ○くにみ幼稚園との接続、情報交換 ・幼保連絡協議会（6月）【前年度2歳児担任】 ・保幼連絡協議会（2月）【今年度2歳児担任、主任、所長】 ・町保育研究会への参加 | ○午睡時の子守唄や手遊びの英語の曲を取り入れる（日々の保育） ○上記の取り組みを家庭に伝える。 ・連絡帳（毎日） ・保育所だより ・クラスだより | ○絵本の読み聞かせ ・毎日2回 ○絵本の紹介 ・クラスだより ○家読の勧め ・毎月4～6のつく日の取り組み【家庭】 ・「絵本大好きカード」【家庭・担任】 ○家庭への絵本の貸出 ・職員室前に本箱を設置 | ○家庭と連携を図り、適切な生活リズムがつくられるようにする。 ・入所時面接 保護者に聞き取りをし、家庭での生活リズムを把握する。 ・連絡帳（毎日） ・保育所だより ・クラスだより ○保育所生活の中で、簡単な「あいさつ」の言葉を子どもと一緒に言う。 | ○発達に即した身体・運動機能の促進を促す。 ・環境整備、見直し、工夫（保育室、遊戯室、廊下、所庭） ・玩具、遊具の選択（年齢、月齢に合った物） ○野菜の栽培（ミニトマト、おくら、ピーマン、きゅうり、なす） ・苗植え、収穫、食べる ・野菜を使った遊び（スタンピング、製作遊びなど） | ○戸外遊びや散歩の機会を多くする。 ○「国見の民話」のペープサート、紙芝居などの製作 | ○デイサービスとの交流 ・年---6回 ◇行事(6,10,12,3月) 【2歳児、担任副担任】 ◇合同避難訓練(6,11月) 【全乳幼児・職員】 ○学校ボランティアの活用 ・年---6回 【全乳幼児・職員】 ○人形劇鑑賞・年---2回 ○秋祭り「山車」の観覧 ・錦町若連 ○散歩や所外活動での地域の人とのあいさつや会話 | ○サマーボランティア ・7月---2日間 【小・中・高生、福祉協議会職員】 ○職場体験 ・9月---2日間 【中学2年生】 | |
| | 評 | ④ 3 2 1 | 4 ③ 2 1 | 4 ③ 2 1 | ④ 3 2 1 | 4 ③ 2 1 | 4 ③ 2 1 | 4 ③ 2 1 | 4 ③ 2 1 | 4 ③ 2 1 |
| 取組の実際・子どもの変容・評価 | 保育所での様子を連絡帳、クラス、保育所だより等で保護者に伝えていった。また、ウェブサイトを通じて子ども達の様子を伝えることができ、的だった。 | 日々の援助一つ一つに工夫を心ける。手では一つではなく、様々な方向から子どもの、関心をえることができるよう心けた。幼保連絡協議会の参加により3歳児の保育、育ちから2歳児の保育の在り方や環境整備の要をめてし参になった。 | ALTによる簡単な手遊び、遊びを実践した。また、英語の絵本の読み聞かせをじっくりと聞くことができ、言葉の響きを感じるようになった。2歳児は簡単な単語を英語で言うことができた。にクンの、物は理解が早い。 | 絵本の読み聞かせの習慣化を図るためには、絵本が子ども達に身近な存在であり、いつでも手のくところにあるものえられるため、環境の整備絵本の選をこまめに行なった。絵本大好きカードの出により保育所、家庭との通理解が図れ子どものをより具体的に把握することができた。 | 生活リズムを整えることの要を所や所の際に保護者に伝え連携を図った。毎日の連絡帳の要。連絡帳活用に関して心な保護者と記入（確なし）等の保護者の度。 | られた遊びの時間をに使用しながら楽しく運動（遊び）ができるよう工夫した。遊具だけでなく保育者が遊びを工夫しマンリ化しないよう心ける。（遊びが化してしまふことのないようにする）外のでの食育活動の実 | 生会に国見の民話（小地にまつわるちっの）を聞かせた。覚からも伝わりやすいようシアターを用いた。 | ○デイとの交流ではく子も見られんでの姿が多く見られる。（高齢者も楽しみにしている） ○学校援ーディーターの方がちとなり様々な活動を行うことができた。地域の方の協力があり交流する様子が見られた。（民話、カリ、手品等） | 触れ合う機会がなくられた児（生）であったが、おいに楽しむ様子が見られた。お兄さん、お姉さんに親しみを持ちに行こうしたりっこをめたりする姿が見られた。 | |
| | 年度に向けて | ALTの活用（英語を聞く） 今も的にウェブサイトにする。 わかりやすいクラスの発行に心ける。 | | | 絵本の選は感のあるものを選ぶが、子ども達の、関心のあるものはのまま、貸出を行う。 絵本の選、保育者自身の絵本にするスアプ（の理解、様々なンの把握、絵本大好き） 保育者、だちとの関わり、保育者からしておこなう。 年齢にじ見通しを持った運動遊びの・実践 | | 民話だけでなく国見にまつわる話を知る。 保育者自身も「国見町」にまつわる民話、話（郷土）を知る。 散歩だけでは民の方との触れ合いが難な場合が多い。 散歩中で民にするとはらない。 幼小中だけでなく同じ設でも学年をえた触れ合いの場を設ける。小さいながらも自分より小さい子への存在に気付く。 | | | |